

■ 編集委員

池淵 研二* (委員長)

赤塚 俊隆* 伊崎 誠一* 小山 勇* 名越 澄子* 仁科 正実 町田 早苗 松下 祥*

渡辺 修一* Chad L Godfrey (*Associate Editor 兼任, 五十音順)

■ Associate Editor

池田 正明 太田 敏男 永井 正規 (五十音順)

■ 編集後記

編集後記を書こうとデスクに座っていると、後にあるテーブルから野菜のピーマンが声をかけてくる。「綺麗な緑だろう、美味しいよ、食べてみたらどう、元気になるよ!」と言ってくれる。さすが埼玉県西部地区、私の職場には自宅で野菜作りをしているスタッフがいて、家で採れた野菜を時々持ってきてくれ皆にふるまってくれる。毎日忙しく業務に追われる病院の中で、ちょっと耳を澄ませると聞こえてくるような癒しの声である。

野菜が声をかけてくれるという、何か最近読んでいる村上春樹さんの小説の影響が出てきているようで、変わった文章かも知れない。急に猫とか犬が登場し人間のしゃべり方をして、編集後記とはこうこうこのように書くものだよと具体的に例を挙げて示してくれるのをしばし待ってみよう。

さて私の趣味として、編集後記の中にはそれを後から読んで、どんな時期に書いていたかを思い出してもらえるような光景を記録しておきたいと思っている。先週は雨が続き、今週は急に気温が35℃以上に上がり、明日から週末にかけては強い勢力を持ったまま四国・本州に上陸しそうになっている台風11号のニュースがひっきりなしにテレビ画面に登場する。冥王星の表面が月の表面のように美しく映し出され、うろこのような表面の不思議な模様が紹介されている。9年以上前に地球から発射された無人探査機ニューホライズンズがようやく冥王星に到達できた、なんとも気の長い素敵な結末である。でもこの模様が見えたり富士山に近い高さの山がある冥王星の様子はとても興味深い。また日本が開発した予報衛星ひまわり8号の画像が天気予報の画面で登場するがそれはとても美しい。日本の技術力はさすがと大声を出して言いたい。

さて埼玉医科大学雑誌に関しての最新のニュースでは、大学院研究科委員会がThesisの在り方、Thesis発表の形態を検討中であり、埼玉医大雑誌への掲載を継続するか打ち切るか熟慮中である。昨今、論文の捏造、コピペ、二重投稿など学術論文に関して負のイメージにつながる事例が報道されるようになった。Thesisの内容、図表が別の学術雑誌に似た体裁で用いられた場合、読む側からすると二重投稿ではないかと疑義を持つ可能性がある。タイトル脇には「Thesisは原著ではない」と記載してあっても、疑義を出したい人にとっては格好のターゲットになる可能性はある。この解決のためにはThesis全文は公開しない方がベターとの判断が出る可能性がある。医大雑誌の中で大きなウェイトを占めていたThesis、若手の先生方の成果発表の場に利用していただいていたが、その歴史に大きな変化が出てくるかも知れない。

(池淵 研二)

埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/jsms/>

第42巻 第1号

編集責任者 池淵 研二

平成27年8月15日 印刷

平成27年8月31日 発行

発行所 埼玉医科大学 医学会

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話 049(276)2102/2030 (直通) FAX 049(276)1964 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

制 作 株式会社アテネデザイン

東京都港区三田1-11-19 小宮ビル2階 電話 03(3456)5741(代) <http://www.atene.co.jp>